

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020 年 6 月 21 日作成 第 1.0 版

研究課題名	自殺関連事象を伴う児童・青年期の適応障害患者のストレス因と援助希求についての初診時横断研究
研究の対象	2015 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日の期間に横浜市立大学附属病院及び、横浜市立大学附属市民総合医療センターを受診した、当時 10～18 歳の、初診時診断が適応障害であった患者さんを対象とします。
研究目的 ・方法	児童・青年期の自殺において背景となる精神疾患として適応障害の割合が高く、家族関係や学校問題など心理社会的背景も自殺の危険因子として重要視されています。診療録から患者データや医療記録を調査し、自殺計画・自殺企図行動などの自殺関連事象、ストレス因、援助希求対象の有無、抑うつ症状の有無や重症度、不安症状、家族構成や家族の経済状況などの家庭環境、虐待の有無等について分析します。
研究期間	西暦 2020 年 9 月 28 日 ～ 西暦 2021 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	診療録情報からの情報収集・分析： 背景因子（年齢、性別、既往歴、合併症）、抑うつ症状の重症度、不安症状 家庭環境（家族構成、虐待の有無、家族の経済状況）、ストレス因、援助希求対象 受診までの相談機関 希死念慮の有無、自殺関連事象の有無（自殺計画・自殺企図行動）
外部への 試料・情報の 提供	研究代表機関である横浜市立大学附属病院 児童精神科へ、上記のデータにパスワードをかけて、電子データとして手渡しで提供します。氏名や生年月日、カルテ ID 等、個人を特定できる情報は収集しません。横浜市立大学附属病院に集積したデータは、入室が制限された児童精神科の医局内で、インターネットに接続できないパソコンで管理します。データは少なくとも本研究の終了日から 5 年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年後のいずれかの遅い日までの期間、個人情報保護に留意し厳重に管理します。また、保存期間が終了後廃棄する際は、復元不可能な形で消去・廃棄します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	該当しません。
研究組織	研究代表機関：横浜市立大学附属病院 児童精神科 宮崎秀仁 共同研究機関：横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター 青山久美

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話でお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター （研究責任者）青山 久美

電話番号：045-281-5656（代表）